

事業所名 児童発達支援センター サンキッズ岩国 支援プログラム 作成日 令和6年 12月 10日

法人(事業所)理念	美和福祉会は、ご利用者・全役職員の物心両面の幸福を追求します。 ご利用者にベストのサービスを提供する。 組織価値を高め社会貢献をする。								
支援方針	「人はみな無限に成長発展する意欲と可能性を備えた存在である」と言う基本理念に基づき、個別療育、グループ療育・保育所等訪問支援に重点を置く。								
営業時間	9時	00分	から	15時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<p>(健康状態の維持と改善) お子様の障害、疾患等、事前に健康状態の把握に努め健康を害する身体症状や普段と変わった変化があれば、早期発見と対応に努め、ご家族又は協力病院、かかりつけ医と迅速な連携を図る。</p> <p>(健康増進) 昼食時の摂食状況と安全な姿勢と嚥下指導、食器や自助具の活用と工夫、偏食の改善に向けた食育指導の実施</p> <p>(生活スキルの獲得) 食事、衣類の着脱、排泄、整容動作等、生活を営む上での必要となる基本的動作の習得に向けた支援の実施</p>							
	運動・感覚	<p>(身体機能と運動能力の向上) 子どもの障害特性や運動能力に合わせた、活動内容の工夫、体験や経験の積み重ねによる支援。運動ルームの空間を有効に活用した集団遊び、遊具を用いた使い方の学びや工夫。</p> <p>(感覚の特性への対応) アセスメントにより導き出した感覚特性(五感の特性)を適切に評価、感覚の隔たりや偏りに対する環境設定や調整、支援の組み立て方への配慮を行う。</p>							
	認知・行動	<p>(感覚と認知の活用) こどもの障害や発達特性から生じる認知機能を適切に評価、認知的発達を促すための制作活動や身体的遊びの実施</p> <p>(認知や行動の手掛かりとなる概念の形成) 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間、時間等の概念の形成を図り、認知や行動の手がかりを工夫</p>							
	言語 コミュニケーション	<p>(言語の形成と活用) 言語聴覚士がこどもの言語能力を評価測定、発声や発音の仕方、ひとりひとりの能力に沿った計画を作成して支援を実施</p> <p>(表出言語と非言語の活用) こどもの発達段階に応じた会話、単語、文字、記号を用いて、相手の言語を理解して表出する方法の支援を実施</p>							
	人間関係 社会性	<p>(模倣行動の支援) ひとりひとりの子どもを適切に評価し、遊びを通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを促す。</p> <p>(一人遊びから協同遊びへの支援) こども自らが能動的かつ自発的に遊びに参加、手順やルールの理解、集団遊びへの参加の支援を実施</p>							
家族支援	こどもに関する情報や気づきの提供、子育てに関する悩みや不安の相談を受付、家族の問題や課題について助言と解決を促す。			移行支援		こどもが通っている保育所、幼稚園への円滑的な移行が進められるよう、支援内容の伝達と相互の情報共有の機会を設定して共通理解を図る。			
地域支援・地域連携	保育所等の子育て支援機関との連携、自治会や地域組織団体と連携したネットワークの作り			職員の質の向上		定期的なコンサルテーションによる研修と支援の指導と助言 専門職による内部研修の計画と学びの機会の確保			
主な行事等	避難訓練、夏祭り、親子遠足、クリスマス会								